

シアトル別院時報

31巻7月号

2012年度教化標語
世の中安穩なれ



本願招喚の勅命

新井俊一師

『教行証文類』の行巻で、親鸞聖人は善導大師による六字名号「南無阿弥陀仏」の意味の解釈を引用されています。

「『南無』というのは、帰命（きみょう——帰依）です。これはまた、発願回向（ほつがんえこう）、すなわち、功德を回向して浄土に往生することを願う事を意味します。『阿弥陀仏』はそのための行です。だから南無阿弥陀仏を称えると必ず往生します。」

親鸞聖人はこの善導大師の解釈をさらに解釈して次のように仰っています。

「『南無』は帰命です。（中略）。『帰命』は本願が私たちに呼びかけ、呼び寄せている勅命です。『発願回向』というのは、阿弥陀如来がすでに願をおこして、私たち衆生に行を与えてくださった、という意味です。『そのための行』というのは、如来の選択本願（第18願）です。『必ず往生する』というのは、不退の位につくこと、すなわち、決して以前の迷いの状態に戻らない、ということです。」

善導大師の原文と親鸞聖人の解釈を比べると、善導大師の文は、帰命も発願回向も阿弥陀仏の名を称えるのも行者自身の行為となっていますが、親鸞聖人の解釈では、これらはすべて、如来から私たちへの働きかけ、ということになっています。

特に注意していただきたいのは、「『帰命』は本願が私たちに呼びかけ、呼び寄せている勅命です」という文です。ここで親鸞聖人は「勅命」という非常に強い言葉を使っておられます。「勅命」のもとの意味は国王や皇帝が出す命令です。世俗の皇帝の命令は皇帝の政策を推進するために出されるものであり、それに逆らったり従わなかったりすると、重罰を科されます。それに反して阿弥陀仏の「勅命」は仏の慈悲の心から出ているのです。迷い迷っていて、進む方向も分からない私たちを見ておれなくて、大声でこちらに來い、といわれる叫び声です。



7月の予定

- 1日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 4日 事務所休み
- 8日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 15日 10時 お盆・初盆法要 別院
10時45分 日本語プログラム
- 21、22日 盆踊り
- 29日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム

- 敬老ホーム法要 24日 10時半
- 日系マナー法要 5、19日 1時半
- 8月5日 原爆被爆者追悼法要

阿弥陀仏は私たちが迷い迷って、生きる方向も分からない状態をただ傍観することができなくて、「こちらにおいて、必ず護って上げるから」と叫んでおられます。私たちは自分の子どもが鉄道線路の方に歩いていくとしたら、最初にすることは「危ない！こっちにもどっておいで」と叫ぶでしょう。それが如来からいただく南無阿弥陀仏なのです。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。



会長の挨拶

森久保ゆきお

何故貴方は別院のメンバーなのでしょう？これは難しい質問です。でも、シアトル別院のリーダーにとってとても関心のある事です、というのも別院が今どのような必要にかなっているか知り、将来どのように必要に応じていくかが鮮明になります。

シンプルな答えは明白です：親鸞聖人の見解のごとく仏法に真実を見出し、その教えにそった門徒の一人となる。それが多くの方々の答えでしょう。

でも、本当の答えはその明らかな答えの奥にあります。それは感情、好み、信念、人生経験などの複雑なミックスの結果が別院の存在というものの価値を見出し門徒となり、奉仕と寄付をし、日曜には家を出て仏法を聞きに来ます。

なぜ成人になって教会に行き活発に活動する人と、なぜ行かない人がいるのかという非常に興味深い研究があります。

研究はいくつかの理由のポイントとして：色々な理由で年齢（教会へ行く人は年寄りが多い）、性別（女性が圧倒的に多い）、国別（44%のアメリカ人が教会に行く、3%日本人）、世代（ベビー・ブーマーは世代前、後より少ない）。一つの研究では父親の意見が非常に影響しているという。他には、教会に関与する人はその人が16歳の時の活動に反映している。

別院のリーダーとしてはこの様な研究に影響されての判断は出来ません—それは複雑すぎでお寺に関与することが長すぎます。しかし、自分たちに基本的な質問を聞くことは出来ます。

* 私達には適切な資料やプログラムがあり門徒の方々に仏法とのつながりを可能にしているか

— 8才から80才、男女、英語、日本語？

* 皆を歓迎しているか、皆は自分が大切にされ、つながりを持った気分になっているか？

* 私達の施設は十分か、きれいに維持されているか？

* 私たちは家族を支援し青年たちを引き付けているか？

* 伝統と変化を的確なバランスでしているか？

* 私たちは理解しあっているか？

リーダーとして、何時も正しい判断をすることは出来ません、私たちは奉仕の方々に依存しています、重要なことを無視してしまう事もあります。でも、私にとって次の18ヶ月で以上の質問に「はい」と答えたいと願ってます。貴方もそれを望みますか？手助け下さいますか？

7月のお盆行事予定

9-12、16-17日 7時半-9時 盆踊り練習

墓地法要

- 14日（土） 12時 マウント・プレザント（クイーン・アン）
1時 ワシントン・メモリアル（シー・タック）
3時半 レーク・ビュー（キャピタル・ヒル）
- 15日（日） 10時 お盆・初盆法要—別院にて
1時 エバグリーン・ワシャリ（ノース・ゲート）
3時 サンセット・ヒル（ベルビュー）
- 19、20日 6時半 盆踊り準備セットアップ
- 21、22日 盆踊り （土）4-10時 （日）3-8時



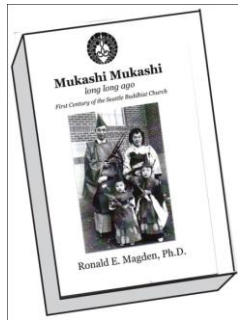


←ヤキマにて

5月27日ヤキマ寺メンバーのキャシー・ハタ、グレン・ハタ、メリー・ジェームス、マス瀬戸とシアトル別院のMA ジョー・シュワブ、アイリーン後藤がヤキマのタホマ・セメタリーにて日系人墓地にピオニーを手向け短い法要を営んだ。

日系マナーにて→

6月7日輪番カストロ、アイリーン後藤、シアトル日本人バプテスト教会の崎山 幸男 牧師、椿神社のバリッシュ神主が日系マナーの新しい庭園「一期一会」に集まり開園を祝った。ワシントン大学の造園学の生徒によってデザインされた。
写真提供 高島清



「むかし、むかし」

シアトル別院の百年を綴った本が出版されました。

著者 マグデン・ロナルド博士

7月21日22日の別院盆踊りにおいてジムにて販売 \$25

詳細は別院事務所にて 365ページ

60以上のインタビューと294写真を掲載

ABA ニュース

ABA ではドーナ&スティーブ信山夫妻よりバスター小財氏の追悼の記とし過大な寄付をいただきました。

マー جان練習日

7月 8日ウクレレの後、15日、29日11時半より

オライオン・ハウス食事奉仕

シアトル市のホームレス青年たちのために、個人またはグループにて計画をたて、食事を用意するオライオン・ハウス・センター・プロジェクトは毎月第3金曜日に行われます。別院の各団体や家族が過去3年に亘り奉仕しており感謝されております。8月—12月の予定を募っております。これは私たちにとっても価値あるプロジェクトです。皆さんの支援を願っている。6月の食事はナイナ富田・加藤がBWAのチェアーでした。感謝しています。詳細は寺本マイクか別院事務所まで知らせてください。

Save the day 9月29日

女性のセミナー

「キリスト教の国にて仏教徒として生きる」

シアトル別院主催 SBWA 後援

パネル・ゲスト

シャーロン・スー博士 (シアトル大学)

谷口昌陽師・博士 (南アラメダ仏教会)

パティール・大下師 (サクラメント仏教会)

婦人会便り

会長のメッセージ

馬場ジャネット



大成功のチャウメン・テークアウト：5月の婦人会資金調達活動に

際し、別院会員の方々のご協力・御支援に厚く御礼申し上げます。婦人会の今後の活動を支持する為に計画されたチャウメン

弁当セールは、弁当225個と共に、お饅頭、餅、そしてベーク品類 (Baked Goods) を、皆様のお蔭で売ることが出来ました。川原律子はチャウメンの味加減が丁度良くなるまで試食されました。皆様のお蔭でこの行事は成功に終える事が出来ました。この活動で得た一部の資金は来る9月29日

(土) に持たれる恵信尼公・覚信尼様セミナー並びに日曜礼拝の特招ご講師の費用に使用されます。詳しい情報は後ほどあります。皆様の寛大なるご支援に感謝申し上げます。(写真はベークセールの様子)



日本食料理クラス：去る6月に田妻美代子が煮物と茶碗蒸しのクラスを持って下さいました。婦人会には料理の特技を持って居られる会員が沢山居られます。私達はそれらの技を習って、家族そしてお友達と共に分かち合えることの出来るのは幸せです。秋には堀川のりぎくに依るお料理のクラスが予定されております。



テリカム・ヴィレッジ/アーゴシー・クルーズ：婦人会活

動部は8月13日に会員、家族そしてお友達の為に、日帰り旅行を計画しております。7月23日までに別院オフィス(206-329-0080)の中野ジョーンに予約、そして乗り物の詳しい情報はグエン・フローレンスに連絡して下さい。

米国仏教団婦人会連盟大会：来る10月12-14日、サンノゼ、加州に於いて、第42回目の大会が「入海の如く一味なり」(Diversity in Oneness, Oneness in Diversity) の題で催されます。ご講師は中野エヴェリン・グレン博士(英語)と、釋氏真澄(きくちますみ)師(日本語)です。来る7月1日に大会に関する会議が予定されており、登録並びに旅行の援助が頂けます。尚現在、登録用紙類は別院オフィスにて入手可能です。又、登録関係は加藤ジョイス、旅行関係は和田真知子に連絡して下さい。

婦人会寄附

英語欄をご参照下さい。

7月行事予定

1日(日)	午前11時45分	米国仏婦連盟大会参加者会議
24日(火)	午前10時30分	別院毎月法話会一敬老にて
29日(日)	午前11時45分	婦人会キャビネット会議

通信書記(日) 新保エツ提出

